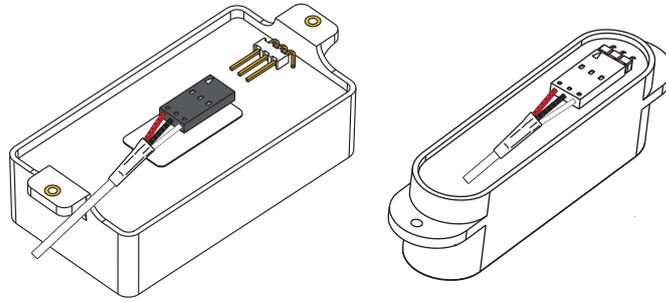
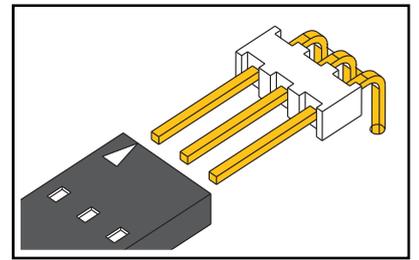


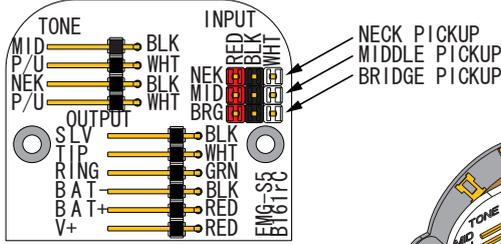
# 実体配線図 S-S-H Guitar



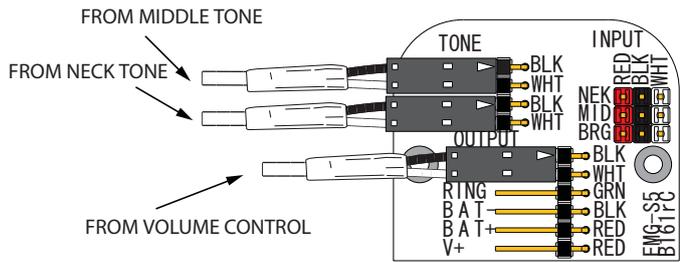
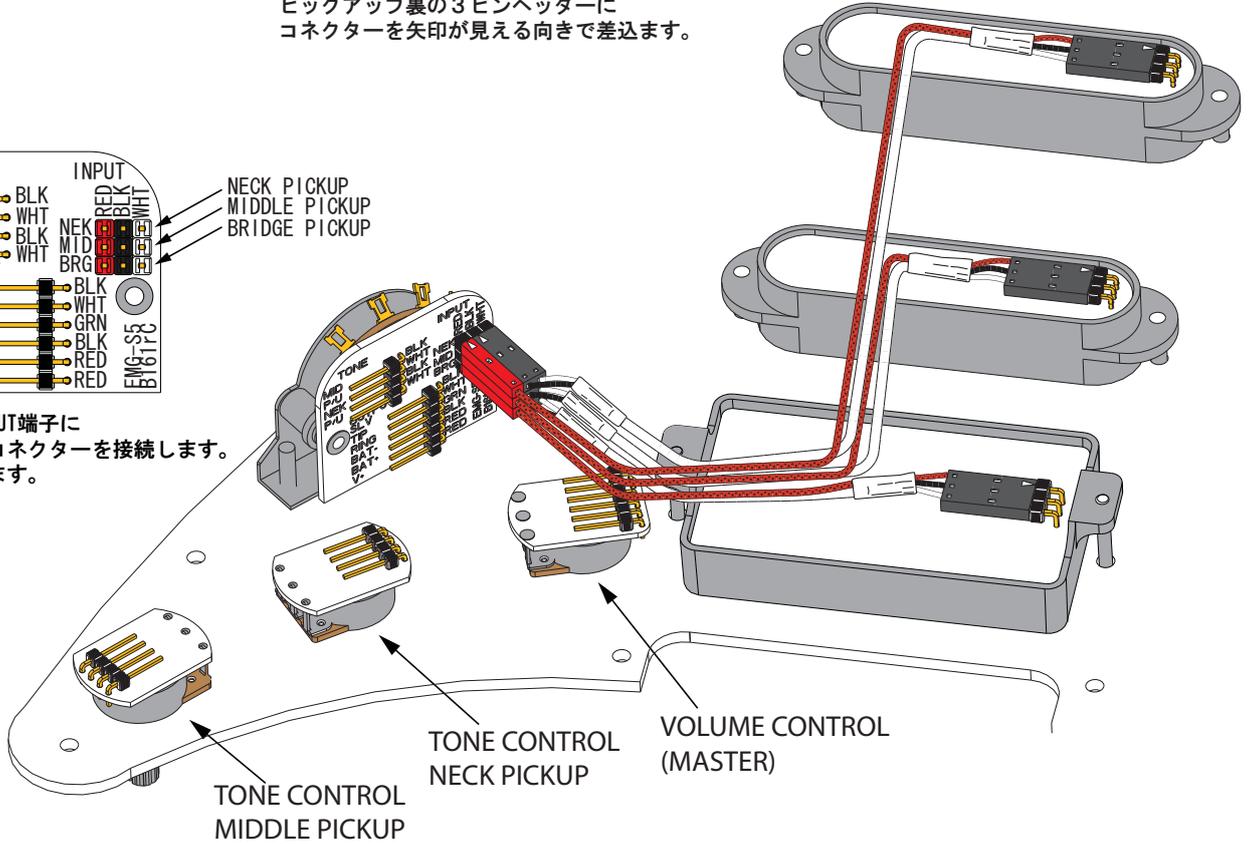
ピックアップ裏の3ピンヘッダーにコネクターを矢印が見える向きで差込みます。



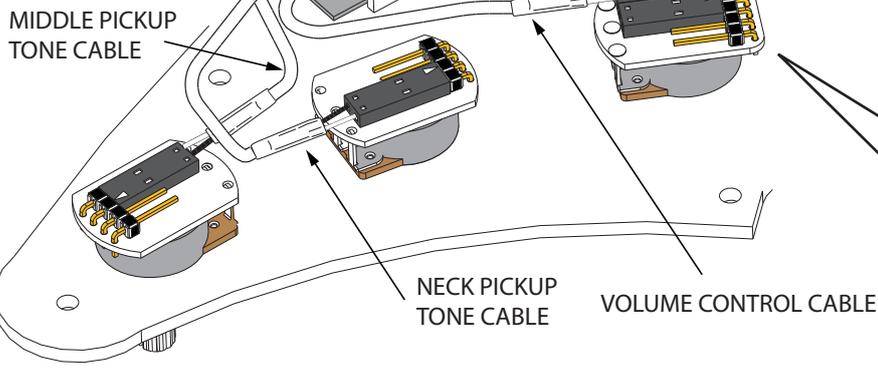
ピックアップ裏の3ピンヘッダーにコネクターを矢印が見える向きで差込みます。



5WayスイッチのINPUT端子に各ピックアップのコネクターを接続します。配線の色に注意します。



ボリューム・トーンの接続をします。5Wayスイッチの端子と各ポットをコネクター接続します。ポットの向き、端子の場所に注意しながら、コネクターの矢印が見える向きで差し込みます。



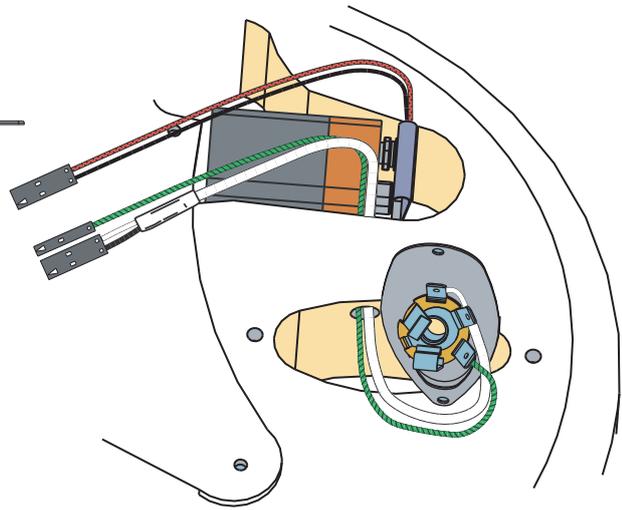
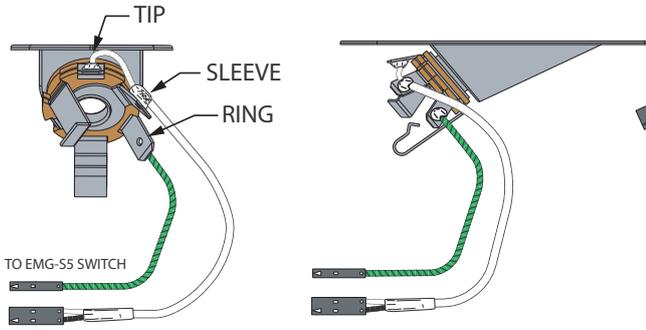
VOLUME拡大図

FROM SWITCH

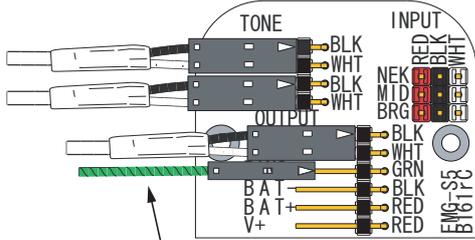
OUTPUT CABLE

\*楽器の仕様によってはケーブルの長さが足りない場合が考えられます。その際は従来の半田配線にてケーブルの長さを延長して配線してください。

次にOUTPUTジャックの準備をします。  
ステレオジャックをジャックプレートに固定します。

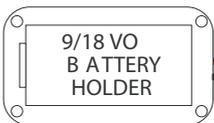


ジャックからキャビティへの配線穴が小さい場合はドリルで穴を広げます。  
白いケーブルと緑のケーブルをキャビティ側へ通します。  
9Vバッテリーをバッテリースナップに接続し、準備します。

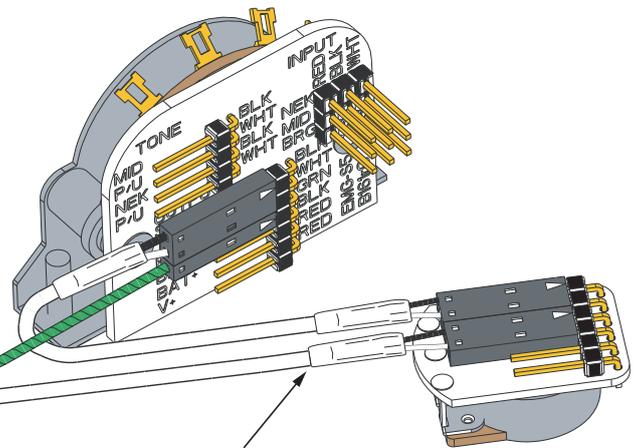


ジャックRINGからの緑ケーブルを端子に差します。

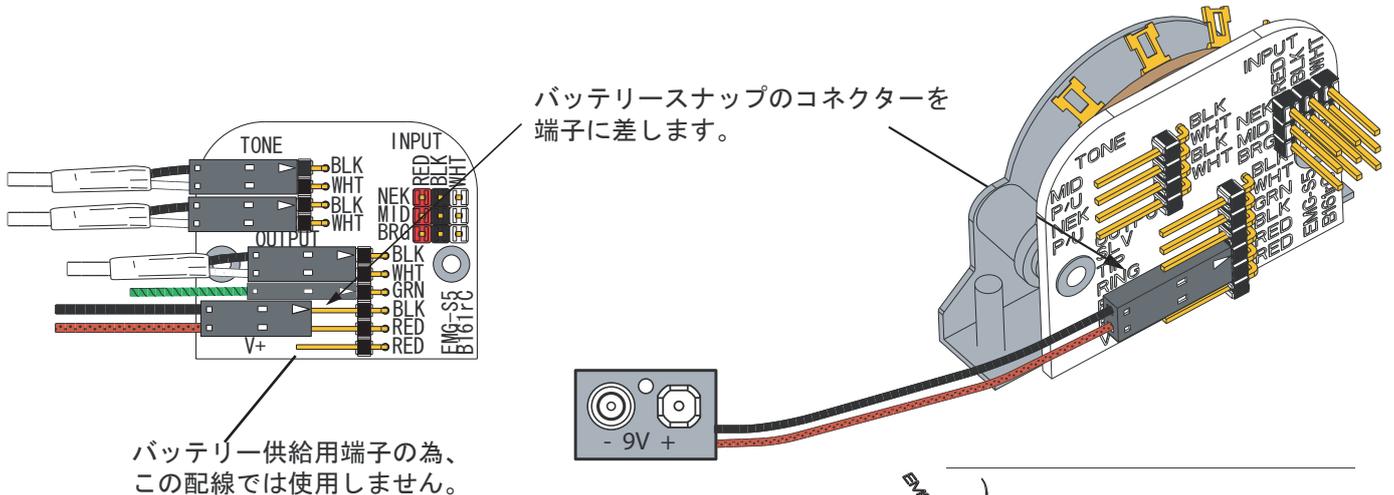
バッテリー-BOXを使用する際は従来のハンダ接続で配線し絶縁処理を確実にしてください。



FROM OUTPUT JACK



ジャックSLEEVE & TIPのケーブルを差します。  
端子の位置に注意します。



バッテリー供給用端子の為、この配線では使用しません。

バッテリースナップのコネクターを端子に差します。

あらためてコネクター接続に間違いが無い確認し、ケーブルやバッテリーの位置に注意し、ケーブルをピックガードなどで挟まないようにピックガードを元に戻して作業完了です。

電池交換の際は図のピックガードネジを外し、優しくピックガードを持ち上げ交換すると良いでしょう。

